

能美防災は、街を、人を、かけがえのないものを、
火災から守り続けています。



2020年度 第2四半期 決算説明会

(2021年3月期)

2020年12月2日

能美防災株式会社 **NOHMI**

I . 2021年3月期 第2四半期 (2020年4月～9月) 連結決算概要



受注高は前期に近い水準を維持

新型コロナウイルスの影響により事業活動の一部が制限されるも、受注高は過去最高であった前期に近い水準を維持

売上高・利益ともに想定より良化

感染防止に努めながら積極的な営業活動を継続
売上高・利益ともに期初の計画を上回った

前期の売上高・利益は高水準

前期に比べ期初の受注残高が少なかったこともあり売上高減少
利益面でも前期は例年に比べ採算性の良い物件が集中

2021年3月期 第2四半期 連結業績

(百万円)

	2020/3 2Q	2021/3 2Q		前期比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	61,688	53,000	61,218	△470	△0.8%	+8,218	+15.5%
売上高	50,038	43,000	45,728	△4,310	△8.6%	+2,728	+6.3%
売上原価率	67.3%	70.4%	69.2%	+1.9pt	—	△1.2pt	—
売上総利益	16,372	12,730	14,098	△2,274	△13.9%	+1,368	+10.7%
販管費	10,816	10,980	10,920	+104	+1.0%	△59	△0.5%
営業利益	5,555	1,750	3,177	△2,378	△42.8%	+1,427	+81.6%
売上高営業利益率	11.1%	4.1%	6.9%	△4.2pt	—	+2.8pt	—
経常利益	5,653	1,850	3,380	△2,273	△40.2%	+1,530	+82.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,637	1,150	2,162	△1,474	△40.5%	+1,012	+88.1%
EPS (円)	60.32	19.07	35.87				

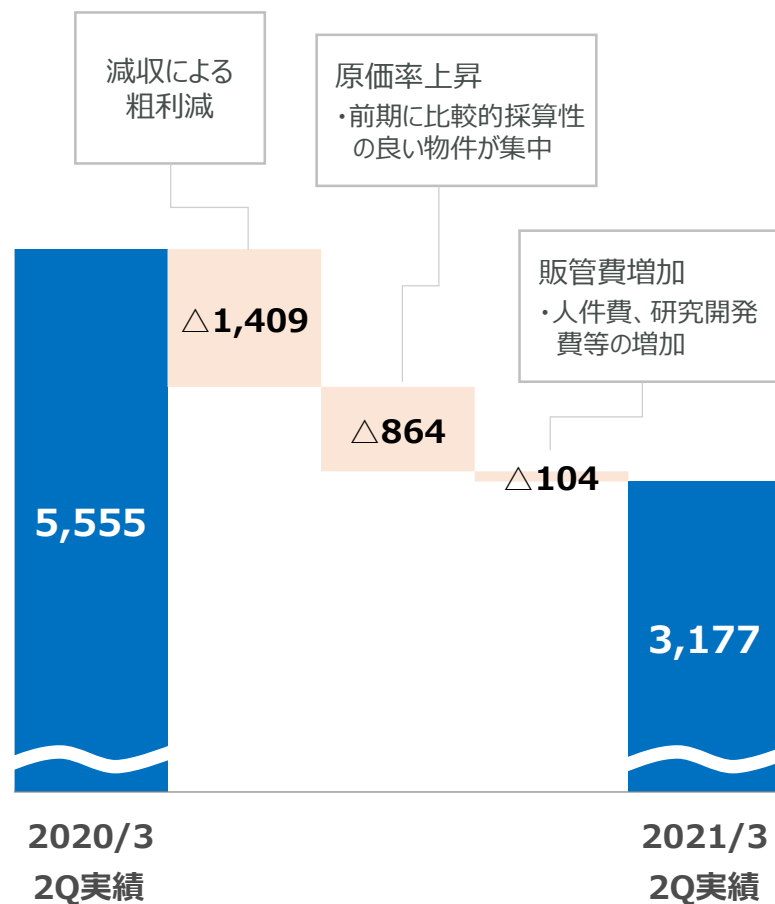
セグメント別売上高・利益

(百万円)

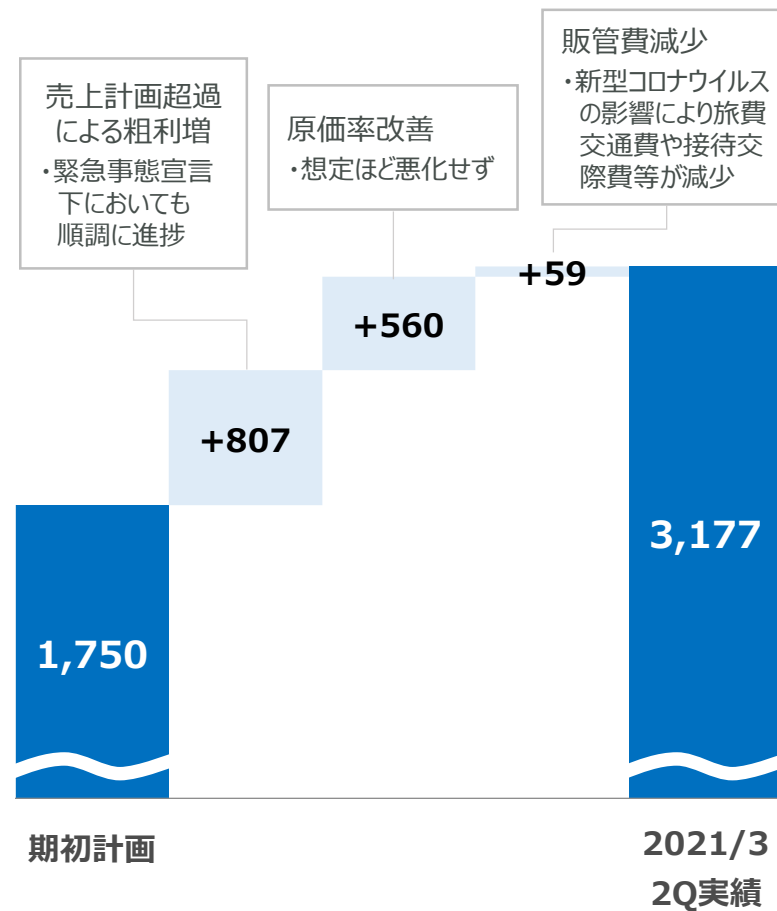
		2020/3 2Q	2021/3 2Q	前期比	
		実績	実績	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	16,689	15,196	△1,493	△8.9%
	セグメント利益	2,945	1,776	△1,168	△39.7%
	(利益率)	(17.6%)	(11.7%)	(△5.9pt)	—
消火設備	売上高	18,515	17,220	△1,295	△7.0%
	セグメント利益	2,993	2,653	△339	△11.3%
	(利益率)	(16.2%)	(15.4%)	(△0.8pt)	—
保守点検等	売上高	12,361	11,352	△1,009	△8.2%
	セグメント利益	2,613	2,029	△583	△22.3%
	(利益率)	(21.1%)	(17.9%)	(△3.2pt)	—
その他	売上高	2,633	2,118	△514	△19.5%
	セグメント利益	128	△1	△129	—
	(利益率)	(4.9%)	(△0.0%)	(△4.9pt)	—
消去または全社	売上高	△160	△158	+1	—
	セグメント利益	△3,124	△3,282	△157	—
連結	売上高	50,038	45,728	△4,310	△8.6%
	営業利益	5,555	3,177	△2,378	△42.8%

営業利益増減分析

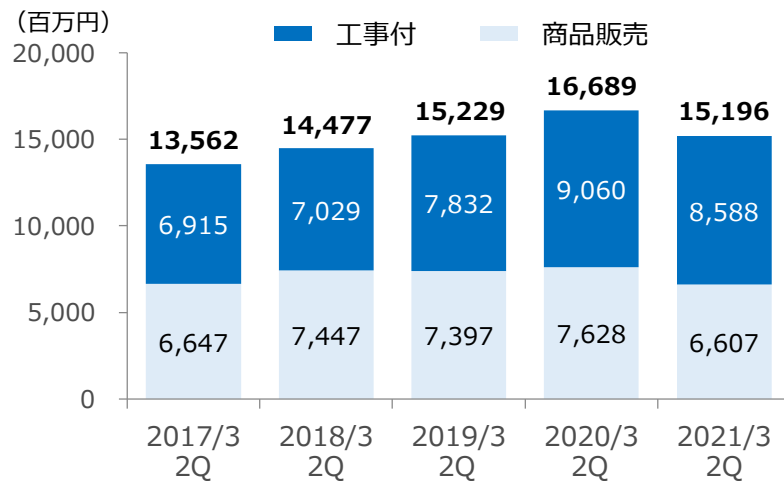
対前期比（百万円）



対計画比（百万円）

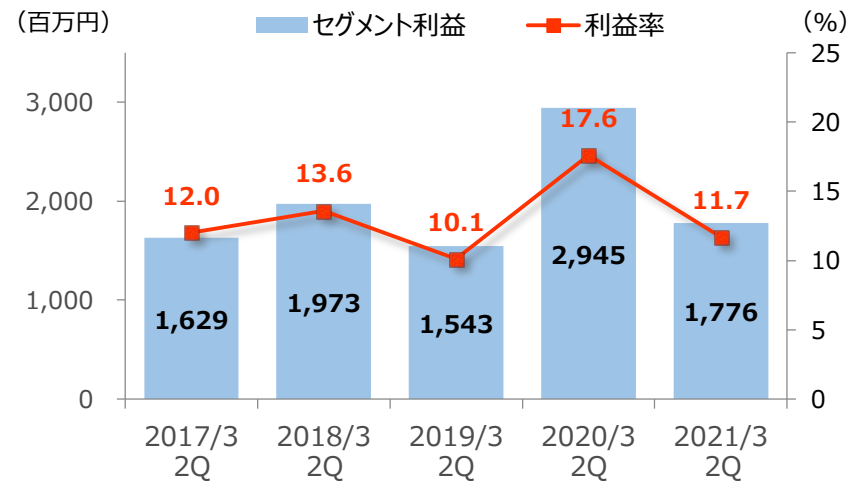


売上高（消去前）



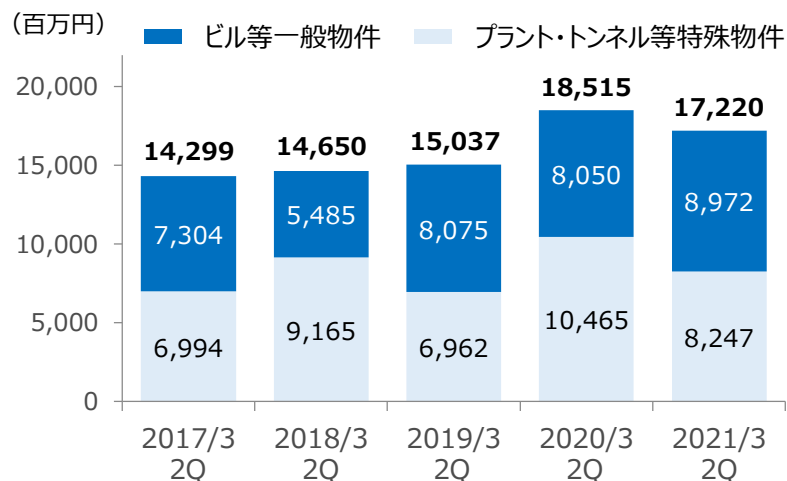
	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	20,311	18,449	△9.2
受注残高	17,978	15,019	△16.5
売上高	16,689	15,196	△8.9
工事付	9,060	8,588	△5.2
商品販売	7,628	6,607	△13.4
セグメント利益	2,945	1,776	△39.7

セグメント利益／利益率



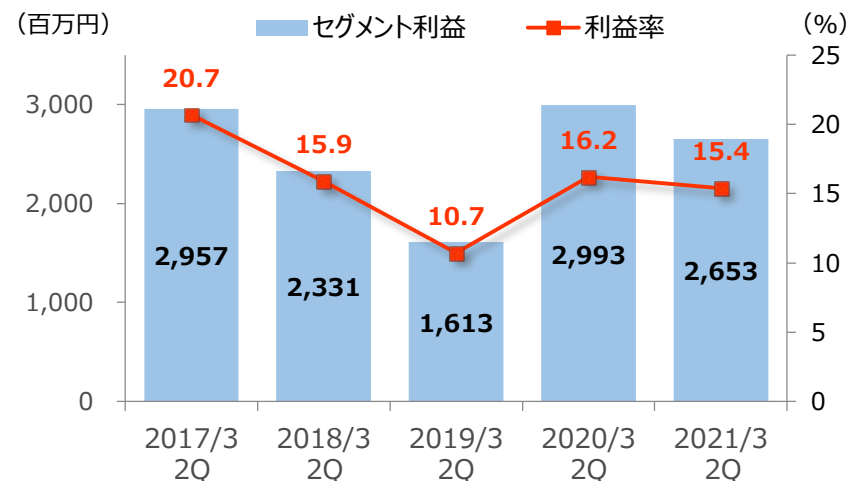
- 不透明な市場環境のなか受注高は減少
- 売上高は、商品販売を中心に減少
- 前期に比較的採算性の良い物件が集中していたことなどから利益も減少

売上高（消去前）



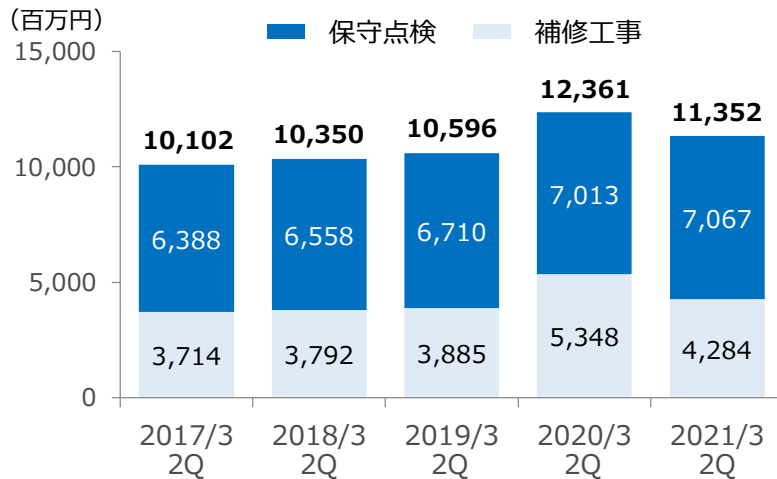
	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	19,629	22,364	+13.9
受注残高	37,560	39,303	+4.6
売上高	18,515	17,220	△7.0
一般物件	8,050	8,972	+11.5
特殊物件	10,465	8,247	△21.2
セグメント利益	2,993	2,653	△11.3

セグメント利益／利益率



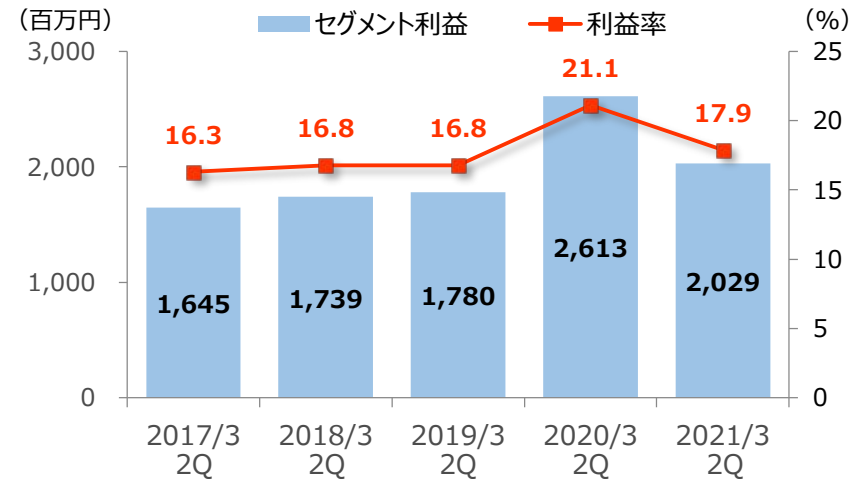
- 受注高は、大型の特殊物件がけん引文化財物件の増加も寄与
- 売上高・利益は、前期に大型物件の計上が重なっていたことなどから減少
- 受注高・売上高・利益のいずれも、引き続き高い水準で推移

売上高（消去前）



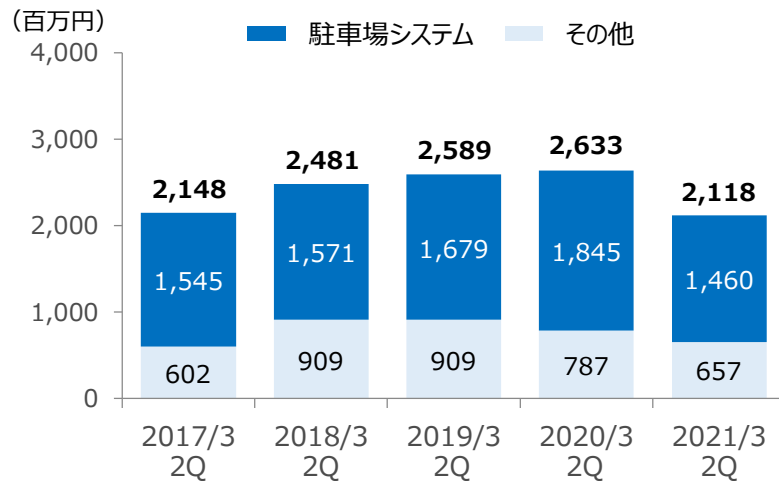
	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	18,535	17,827	△3.8
受注残高	10,746	10,500	△2.3
売上高	12,361	11,352	△8.2
保守点検	7,013	7,067	+0.8
補修工事	5,348	4,284	△19.9
セグメント利益	2,613	2,029	△22.3

セグメント利益／利益率



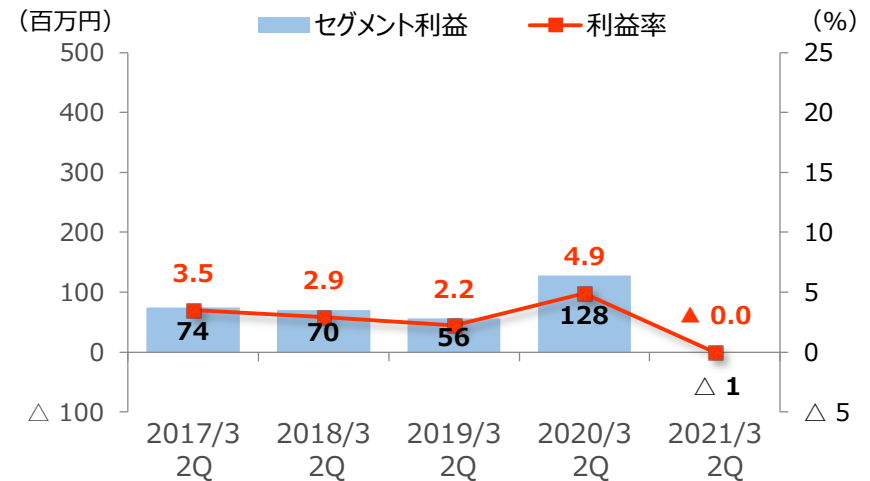
- 景気が厳しい状況で推移するなか
受注高は減少
- 売上高・利益は、
リニューアル物件が集中していたことなどから、
前期が特に高い水準であった

売上高（消去前）



	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	前期比 (%)
受注高	3,210	2,577	△19.7
受注残高	1,420	1,301	△8.4
売上高	2,633	2,118	△19.5
駐車場システム	1,845	1,460	△20.8
その他	787	657	△16.5
セグメント利益	128	△1	—

セグメント利益／利益率



- 新型コロナウイルスの影響により、駐車場の利用率が低下
- 受注高・売上高・利益のいずれも減少

Ⅱ. 2021年3月期 連結業績予想

NOHMI

2021年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2020/3	2021/3	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
受注高	111,872	105,000	△6,872	△6.1%
売上高	117,294	107,000	△10,294	△8.8%
売上総利益 (利益率)	39,305 (33.5%)	34,400 (32.1%)	△4,905 (△1.4pt)	△12.5% —
販管費	24,165	23,400	△765	△3.2%
営業利益 (利益率)	15,139 (12.9%)	11,000 (10.3%)	△4,139 (△2.6pt)	△27.3% —
経常利益	15,448	11,200	△4,248	△27.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	7,450	△3,066	△29.2%
EPS (円)	174.41	123.55		
ROE	11.4%	7.7%		

新型コロナウイルスの影響を踏まえ減収減益

事業活動の一部を制限せざるを得ない状況が
6月末まで継続すると仮定して算定

第2四半期は予想超過も、通期予想は据え置き

第2四半期は予想を上回る水準で推移するも、
引き続き受注環境の悪化が懸念されるなど市場動向は不透明

営業利益率10%以上を維持

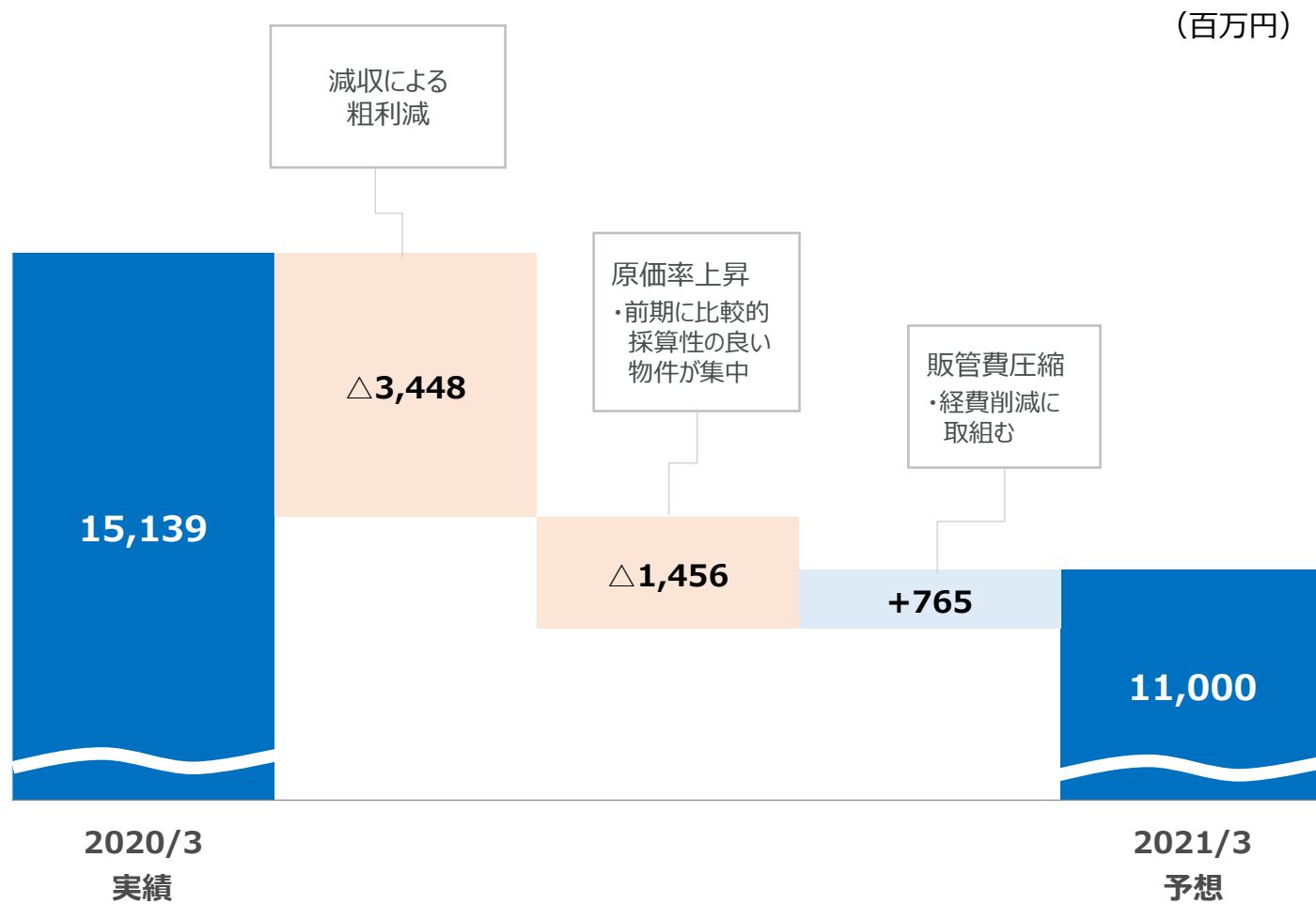
新型コロナウイルスの影響が引き続き懸念されるなかでも、
営業利益率10%以上の維持を目指す

セグメント別売上高・利益予想

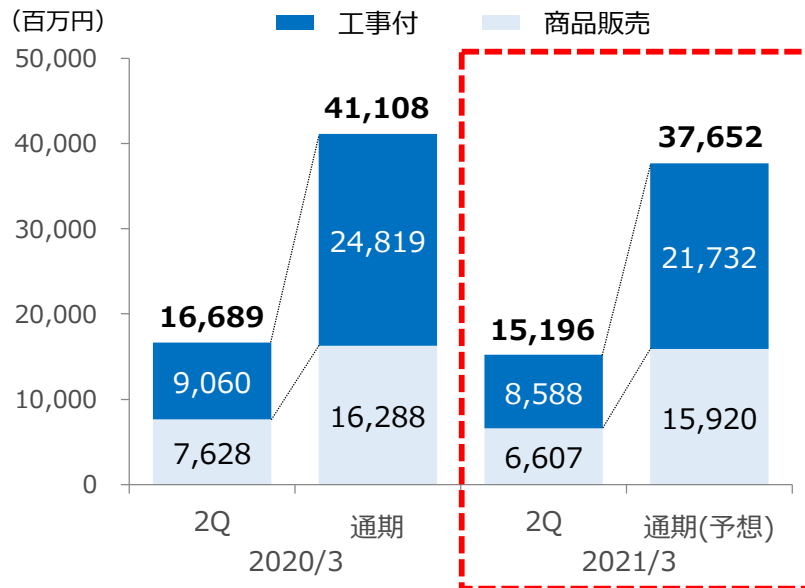
(百万円)

		2020/3	2021/3	前期比	
		実績	予想	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	41,108	37,652	△3,455	△8.4%
	セグメント利益	7,672	6,469	△1,202	△15.7%
	(利益率)	(18.7%)	(17.2%)	(△1.5pt)	—
消火設備	売上高	42,805	39,059	△3,745	△8.8%
	セグメント利益	7,984	6,313	△1,670	△20.9%
	(利益率)	(18.7%)	(16.2%)	(△2.5pt)	—
保守点検等	売上高	27,482	25,320	△2,162	△7.9%
	セグメント利益	6,162	4,957	△1,204	△19.5%
	(利益率)	(22.4%)	(19.6%)	(△2.8pt)	—
その他	売上高	6,272	5,341	△930	△14.8%
	セグメント利益	490	297	△192	△39.3%
	(利益率)	(7.8%)	(5.6%)	(△2.3pt)	—
消去または全社	売上高	△373	△373	—	—
	セグメント利益	△7,168	△7,039	+129	—
連結	売上高	117,294	107,000	△10,294	△8.8%
	営業利益	15,139	11,000	△4,139	△27.3%

営業利益予想増減分析

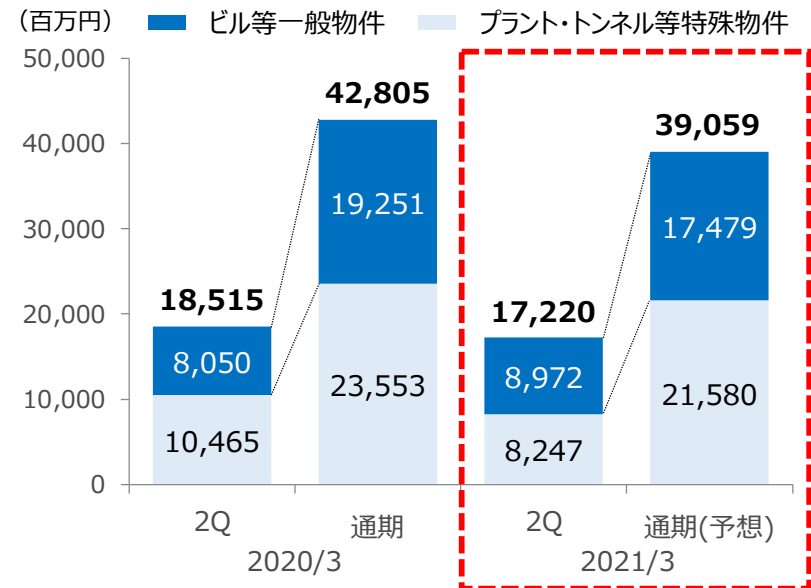


火災報知設備



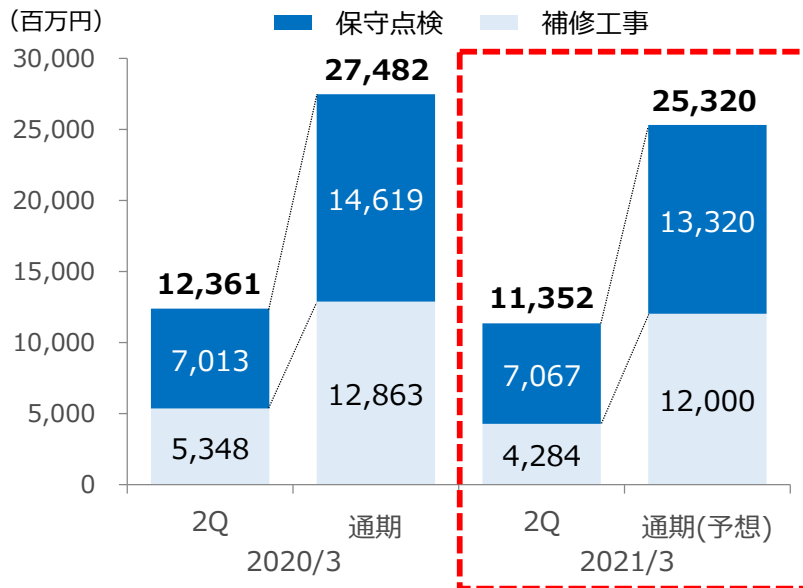
➤ 感染防止に努めながら営業活動
手持ち工事の消化に努めることなどにより、
上記の売上高を見込む

消火設備



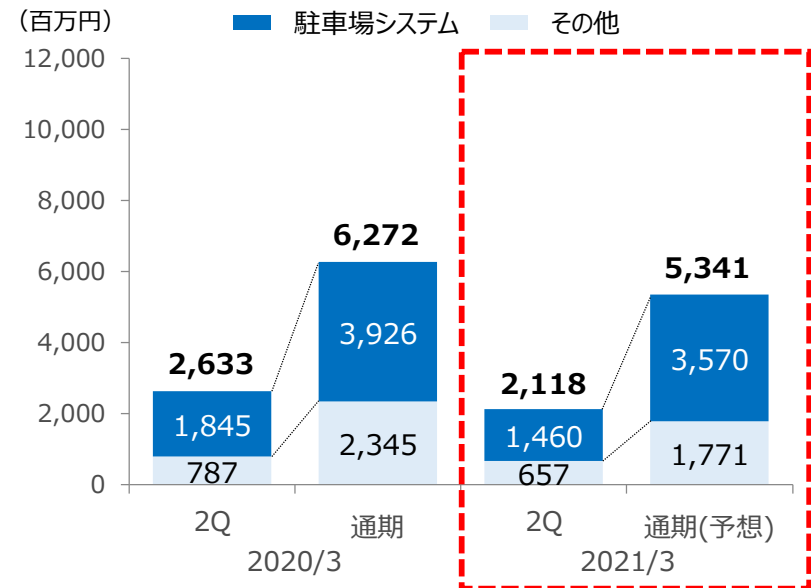
➤ 堅調な受注環境を背景に、
引き続き高水準の売上確保を見込む

保守点検等



➤ 先行き不透明な状況ながら、積極的な提案営業活動などにより、着実な売上計上を見込む

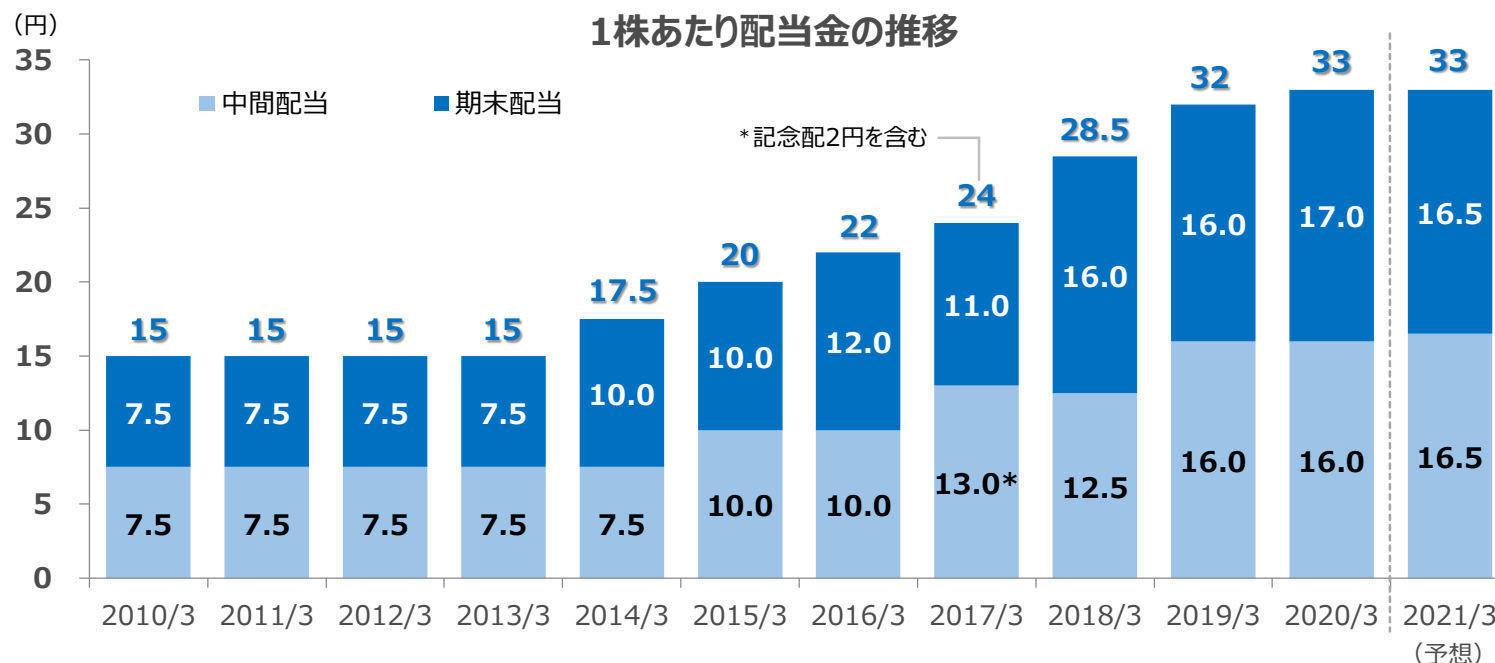
その他



➤ 新型コロナウイルスの影響により駐車場の利用率低下全体として減収を見込む

株主還元については、配当額の安定的な推移を重視

1978年以来、特別配当を除き減配をしていない



配当性向	38.8%	48.5%	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	18.9%	26.7%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

Ⅲ. 中期経営計画『project2021』 (2019年度～2021年度)



当社の存在意義

防災事業のパイオニアとして、世の中の変化を先取りし、
社会の安全に貢献する価値を提供し続ける

外部環境に対応し、より高いステージへ進むためには

『現場力』の強靱化が必要不可欠



「現場力」…現場で発生する課題・問題を全員が当事者意識を持って自律的に発見し、組織力を発揮して解決にあたる力

ビジョン

強靱な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

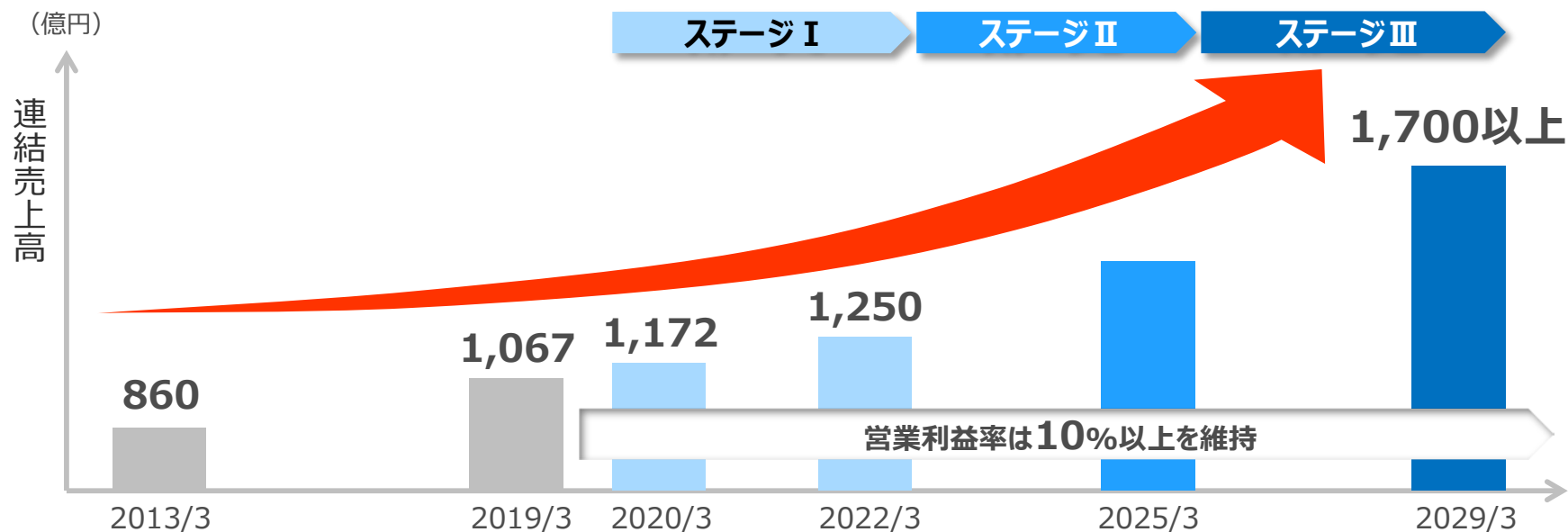
総合防災企業として防災分野のパイオニアであり続ける

【中期経営計画の重点方針】

- ① 人財力の向上
- ② 事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上
- ③ グループ経営の強化

より高いステージに向けた基盤づくり（投資、新たな取り組み）

連結売上高・営業利益率



研究開発投資

- ・社内外の関係機関と連携し、要素・技術を導入
(データ・テクノロジー、AI、IoT…)
 - ・当社コア技術の社内育成を推進
- 次世代新商品開発へ

試験研究費

22億円

30億円

50億円

対連結
売上高比率

2.1%

2.4%

3.0%

1 人財力の向上

2 基幹事業の礎の強化

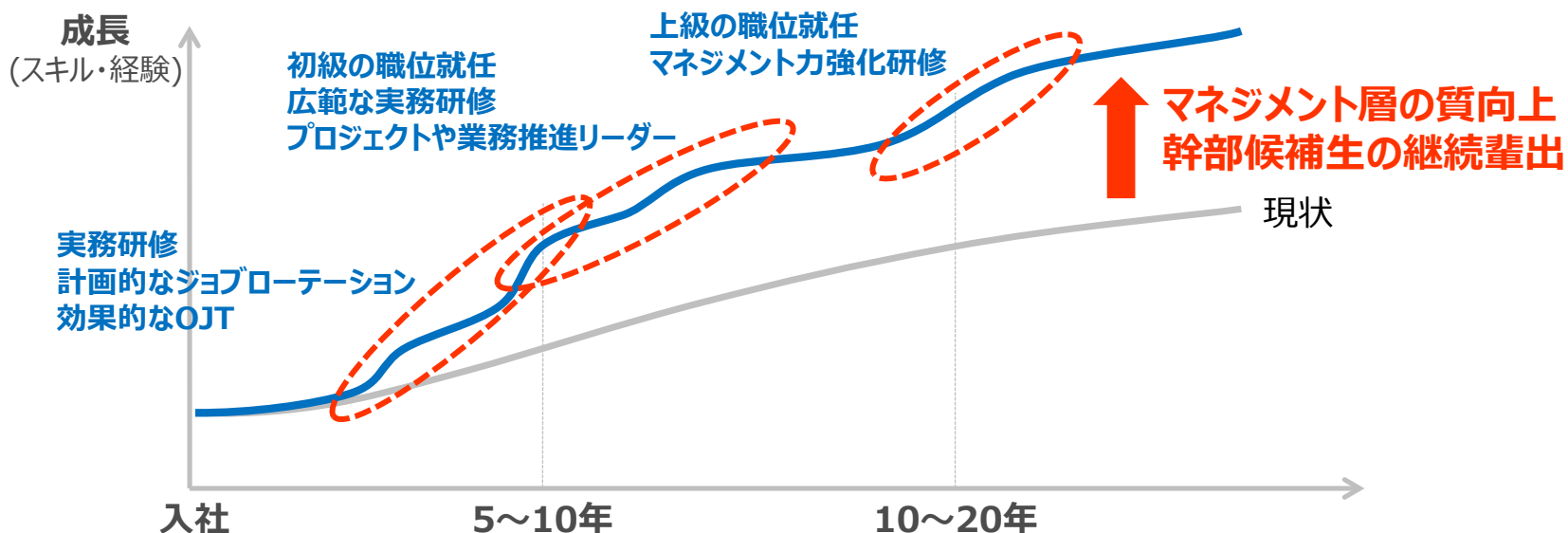
文化財防災事業の事例

3 事業構想力・遂行力／オペレーションの精度とスピードの向上

4 経営体制の強化

人財力の向上

- 効果的なOJTと計画的なローテーションの実施
- トレーニング設備の整備などによる実務研修の強化とマネジメント力強化研修の実施



今後

より一層「選ばれる会社」「人が育つ会社」とするための施策を推進

成長につながる異動や
配置換えの更なる推進

「クロス・トレーニング
制度*」の活用促進

新たな研修の実施
(マネジメント層を対象)

等

* 一定期間、異なる部門・部署で業務経験を積む制度

基幹事業の礎を強化し、新規事業へチャレンジ

※新規事業の対象は、既存事業に取り組む中で、お客様ニーズが派生する可能性があると考えられる周辺領域



能美Gが直接・間接的に関係する市場規模は大きい

※ 各目標の市場規模は2017年の試算結果



出所：「SDGsビジネスの可能性とルール形成」デロイト・トーマツ コンサルティング合同会社 2017年12月
(https://webdesk.jsa.or.jp/pdf/dev/md_3079.pdf) より当社作成

国が注力する事業の市場規模はさらに拡大していく



- 社会の根幹である防災に関する課題は多い
- 国主導の研究会などを注視 ※消防庁以外にも目を向ける

出所：首相官邸「第1回ムーンショット型研究開発制度に係るビジナリー会議」＜2019.3.29＞をもとに当社作成

文化財防災事業のこれから

防火対策5か年計画から想定されるニーズの増加

(2020年度～2024年度)

文化財の防火対策に関する国の動き（ノートルダム大聖堂、首里城跡での大規模火災を受けて）

【文化庁】 国宝・重要文化財（建造物）の防火対策ガイドラインを公表、改訂

【文部科学大臣】 世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画を決定

重点整備 対象

- ・世界遺産および国宝（建造物）
- ・国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等（老朽化・不具合等が確認されたもの）

当第2四半期までの状況

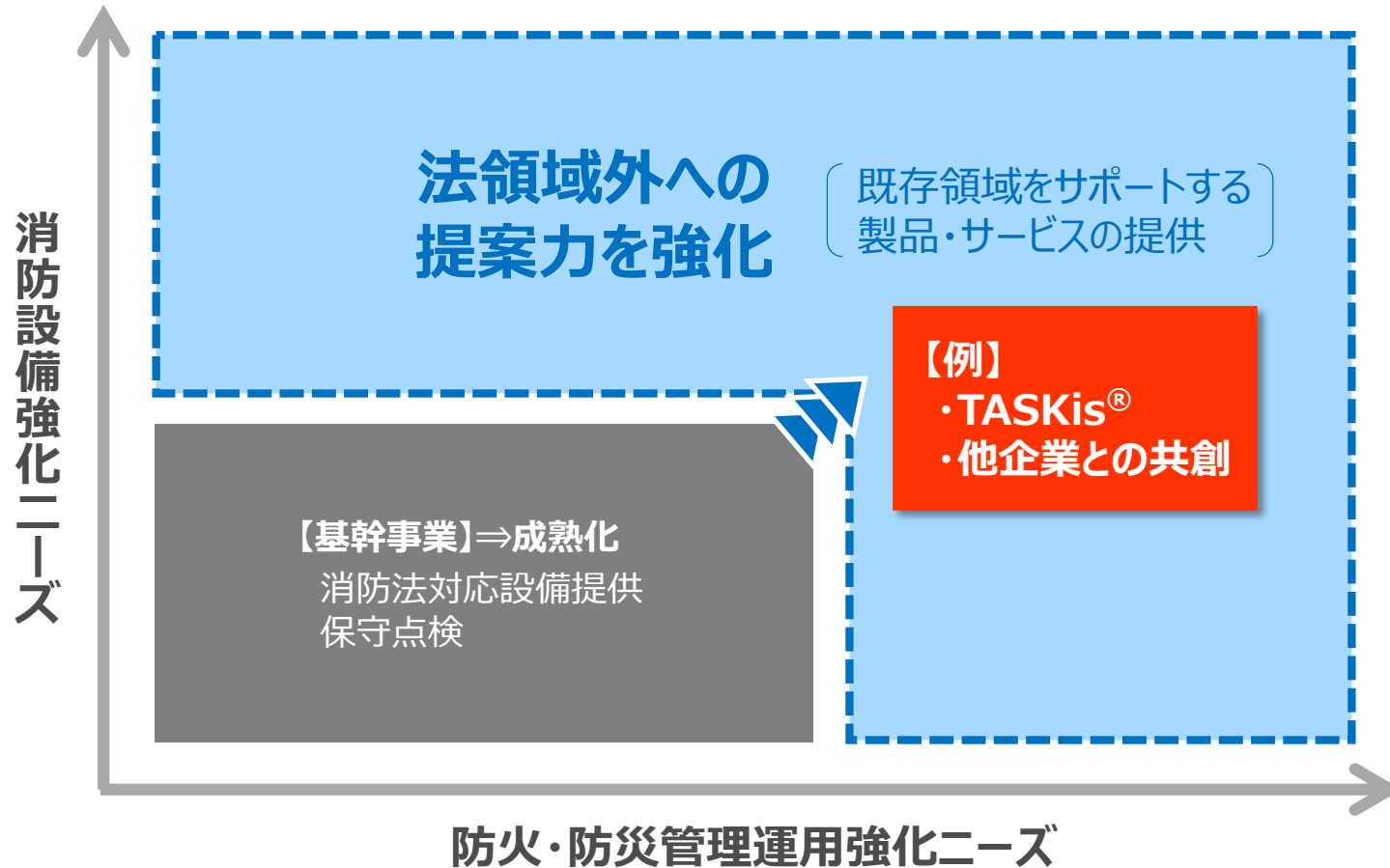
受注物件は想定どおり増加

今後 ▶ 引き続きニーズに応えるべく取り組んでいく

① 提案内容の拡充

② 受注（施工）物件の増加に伴う施工担当者の確保、各要員の育成・増強 等

事業領域の拡大

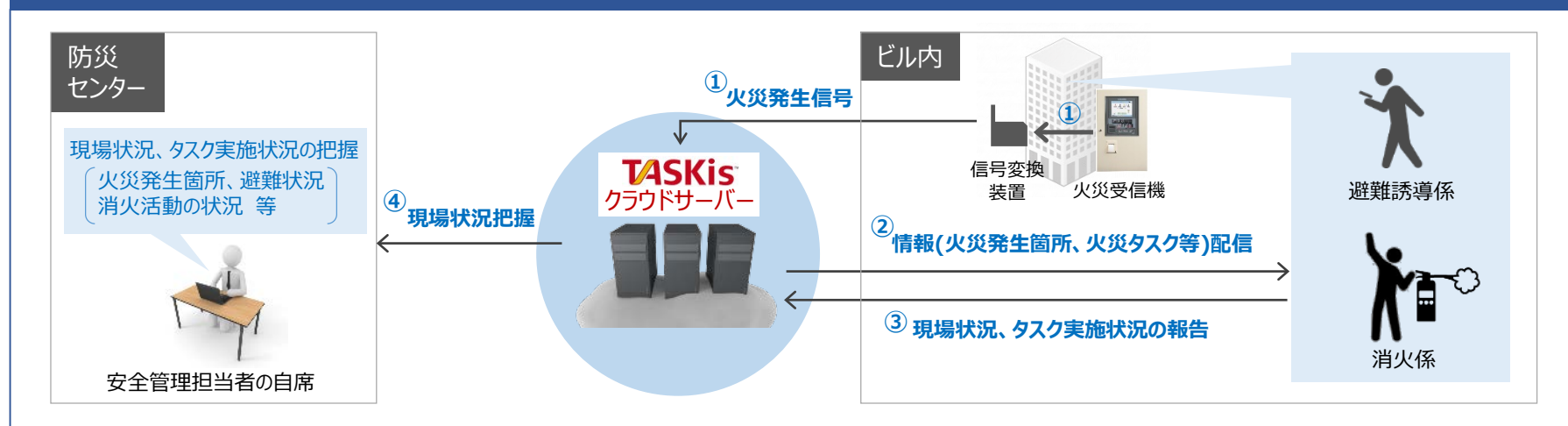


新たな価値の提供による提案力強化

クラウド型防災支援ソフト『TASKis®』の主な機能

- 火災・地震など、BCPに係る非常時の行動指示情報(タスク)を、関係者のスマートフォンへ通知
- 関係者からのタスク実施報告を、管理者のパソコン画面へリアルタイムに表示

ビル内での火災発生を想定した「TASKis®」の動作イメージ

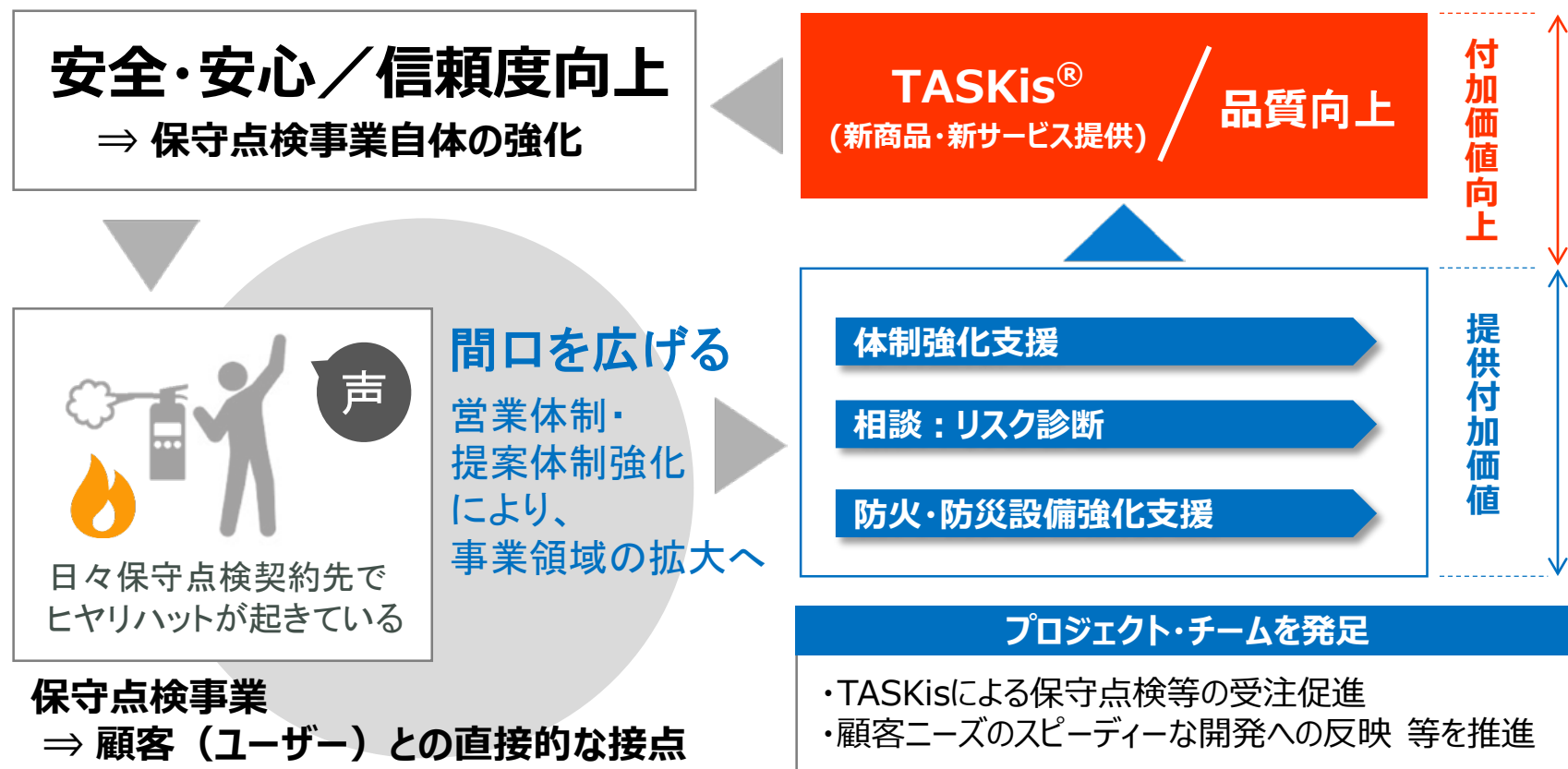


ソフト（体制整備）の面で新たな価値を提供

変化するお客様ニーズ … 「検知・検出」から「予防」へ

事業領域の拡大への取り組み事例 ～TASKis[®]～

『TASKis[®]』による新たな安全・安心ニーズの取り込み



海外事業の強化

アフターサービスまでを含めた付加価値の高いサービスの提供

中国

販売ターゲット拡大
製造戦略の見直し

インド

事業戦略の再構築

日本

バックオフィス機能強化
製造バックアップ機能強化
グローバル人財の確保
M&A、他社との連携検討

東南アジア・台湾

営業拠点施策
代理店施策
製品ラインナップの見直し

新型コロナウイルスの影響あり

コーポレート・ガバナンスの強化

これまでの取り組み	実施時期
執行役員制度の導入	2020年6月
独立社外取締役の比率を 1 / 3 に引き上げ	
女性取締役の選任	
取締役会付議基準の見直し	
任意の指名・報酬委員会の設置	



引き続き経営体制の強化に取り組んでいく

IV. ご参考

NOHMI

～ 防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業 ～

商 号

能美防災株式会社

本店所在地

東京都千代田区九段南四丁目7番3号

設 立

1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月

代 表 者

代表取締役社長 伊藤 龍典

資 本 金

13,302百万円

※ともに2020年3月末

従 業 員 数

2,524名 <連結>

事 業 内 容

防災に関する受託実験・企画・提案
各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守
上記機器の設計、製造、販売
駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売及び保守

創立100周年

株式上場

創立

- 2019 クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売
- 2018 中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始
- 2017 妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノロジーメヌマ」を開設、メヌマ工場を拡大
- 2016 消火剤噴霧自動消火システム「SPlashα」を販売開始
- 2014 「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2013 画像処理煙検知システムを販売開始
- 2010 三郷市に研究開発センターを開設
- 2009 火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995 中国に合併会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立
- 1991 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974 LNG基地防災システムを開発
- 1968 霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>
- 1962 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置 <高速道路トンネルとして国内初>
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936 皇居に火災報知設備を設置
- 1933 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924 前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始
- 1916 能美輝一、能美商会を創立



<R-26C>



<能美テクノロジーメヌマ>



<メヌマ工場>



<研究開発センター(三郷)>



<リング型表示灯付発信機>



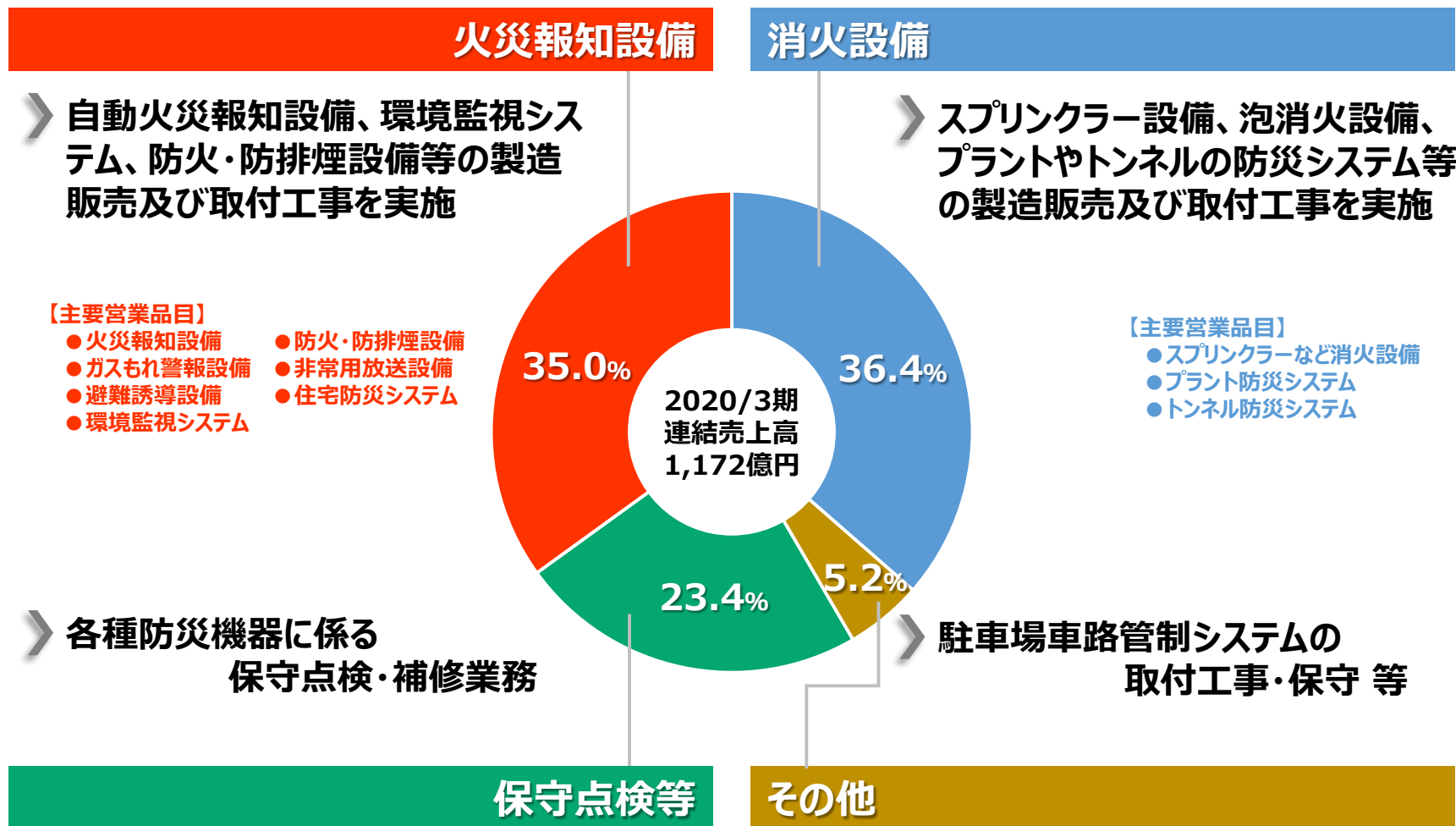
<PROTECVIEW>



<能美輝一>



<宮中奥御殿（皇居）完工記念>



総合防災力

- 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒ 施工 ⇒ メンテナンスまで
一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制

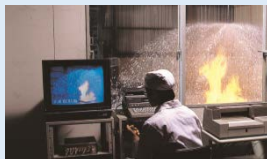
研究・開発

製 造

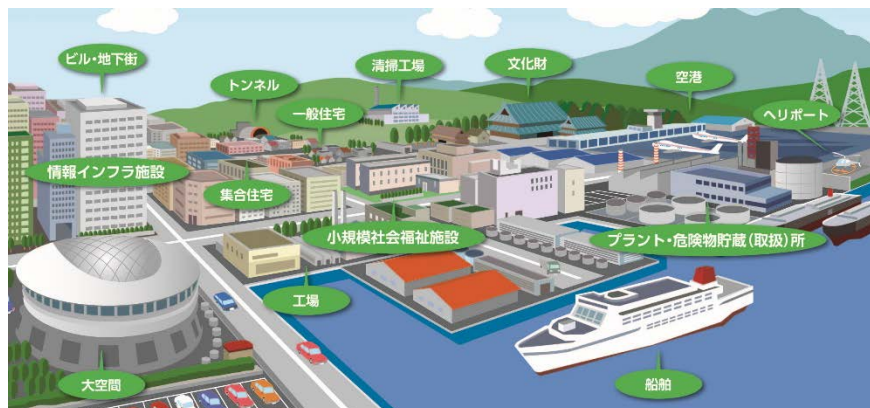
営業・設計

施 工

メンテナンス



- 幅広い品揃え**により、様々な施設、
防災ニーズに対応が可能

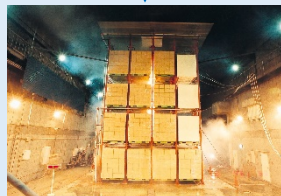


長い社歴の中で強みが磨かれた5つの要素

- ① 総合防災に関する開発、設計、施工等の『技術力』
- ② 豊富な実験により蓄積された火災に関する『ノウハウ』
- ③ 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『施工力』
- ④ 実績とともに築かれた関係各所からの『信頼』
- ⑤ 日本全国に敷かれた充実した『代理店網』

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション

ラック式倉庫
火災実験



自動車塗装ブース
火災実験



高発泡消火実験



煙の流動実験



クリーンルームでの
発煙実験



本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。